

豊橋市学校施設包括管理業務委託 評価基準

(1) 一次評価基準

No	評価項目		審査内容	配点	
1	事業者の専門的能力・経営状況・実績	1-1	組織・財政・人的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務に関連する部門の組織・人員体制は充実しているか。 ・事業者だけでも対応できる技術力を有しているか。 	10
		1-2	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の実施にあたり経営状況は良好か。 	10
	2	業務体制・実施方針・提案内容	2-1	総括管理業務（マネジメント業務）の品質・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の内容と同種又は類似の業務を行った実績はあるか。
<ul style="list-style-type: none"> ・本市が求める本業務の理解は適切か。 					10
<ul style="list-style-type: none"> ・総括責任者は、業務遂行に必要な資格、十分な知識、実績、マネジメント能力などを有しているか。 					10
<ul style="list-style-type: none"> ・総括責任者以下の組織体制及び実施工程は質・量ともに充実しているか。 ・保守点検等業務や修繕等業務といった個別業務を適切に管理したうえで、本業務全体が総括的に管理される実効性の高い体制が整備されているか。 					10
<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施計画書が具体的かつ実現性を備えた提案となっているか。 					10
<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施報告書が分かりやすく整理され、本市が求める業務目的を達成できる提案となっているか。 ・施設管理情報の整備・更新が本市の求める施設マネジメントの検証に資する提案となっているか。 ・市の保有する情報と本業務で得られる情報を集約化できる具体的な提案があるか。 					20
2-2			保守点検等業務の品質・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理担当者への維持管理マニュアル等の支援策が具体的なものとなっているか。 	10
				<ul style="list-style-type: none"> ・業務開始までの準備期間における本市や市内事業者との調整は具体的かつ妥当なものであるか。 	10
				<ul style="list-style-type: none"> ・市、受託者、再委託者の役割分担、業務の流れは適切か。 ・通常時に加え、緊急時も含めた業務フローは具体的かつ対応可能なものになっているか。 	10
2-3			修繕等業務の品質・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・複数業務を包括的に管理するメリットを活かし、各保守点検結果を一元的に管理する提案があるか。 	10
				<ul style="list-style-type: none"> ・巡回点検の実施内容や頻度等は充実しているか。 ・修繕費の削減に寄与する内製化の提案が示されているか。 	20
				<ul style="list-style-type: none"> ・高い業務品質の確保するための具体的な提案があるか。 	10
2-4			市内事業者との協力体制・活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕等業務における業務フローは具体的かつ適切なものとなっているか。 	10
				<ul style="list-style-type: none"> ・修繕の優先順位の考え方が示されているか。 ・対象施設で実施した「修繕等業務」や「軽微な補修等」に係る情報を一元的に管理する提案があるか。 	10
2-5			追加サービス・独自のノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の技術力やノウハウ、経営基盤等の向上に資することが期待できるか。 	10
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の活用方針及び選定手続は適切なものであるか。 	20			
	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に規定する業務以外に、本業務の目的に対し効果が期待できる追加サービスや独自のノウハウの提案があるか。 	10			
			<ul style="list-style-type: none"> ・点検結果や施設管理情報の集約等による、今後の持続可能な施設マネジメント（長寿命化やライフサイクルコストの低減等）に結びつける提案があるか。 	10	

No	評価項目	審査内容	配点
3	価格提案	下記の計算式により算出する。 50点×(最低見積金額/見積金額) ※価格評価点算出における見積金額は、マネジメント業務費及び保守点検等業務費の合計額とし、固定値として見積もる修繕等業務費は含めないものとする。 ※小数点以下の値は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで算出する。	50
一次評価 計			300

(2) 二次評価基準

No	評価項目	審査内容	配点	
1	プレゼンテーション	本業務に対する理解度	・業務内容、目的、課題などを正しく理解しているか。	10
		提案内容の実現性	・体制や業務フローなど、実現可能な提案内容となっているか。	10
		説明の明瞭性	・提案内容について、論理的な構成のもと、要点が明確で分かりやすい説明となっているか。	30
		質疑への対応	・質問の意図を正確に理解した上で、具体的な回答となっているか。	30
		本業務に対する取組意欲	・本業務に対する取組意欲があるか。	20
二次評価 計			100	

(3) 総合評価

一次評価と二次評価の得点の合計(400点満点)により総合評価を確定し、最も合計得点が高いものを最優秀提案者として特定する。